



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



各地区安管協会の活動紹介

「夏の交通安全県民運動」に各地区協会が活動開始！！

下田地区、浜松西地区、天竜地区安全運転管理協会では、7月11日（土）から始まった「夏の交通安全県民運動」に伴い、他の交通関係団体とともに安全運転に向けた街頭広報など交通安全活動を行いました。

各地区安管協会の皆さんが、それぞれ交通事故防止を願って活動に取り組んでいますので、その一部をご紹介します。

下田地区

7月10日（金） 下田地区安管協会では、下田警察署員とともに下田市柿崎地先のフェニックス広場に設置された「交通安全誓いの像」の清掃作業を行いました。

この「交通安全誓いの像」は、昭和62年に下田警察署員が管内の交通安全を願って設置したもので、当日の清掃作業には、下田署交通課長を始め下田署員と下田地区安管協会の会長以下役員など総勢10人が参加しました。

下田地区安管協会では、これから夏季に向けて車や人の往来が増えて交通事故の増加が心配されるため、国道に面し人目に付きやすいこの像を清掃して、少しでも多くの通行車両等に注意を促して、交通事故防止につながればと期待しています。



「交通安全誓いの像」



清掃作業の様子



清掃作業に参加した皆さん

浜松西地区

7月13日(月) 浜松西地区安管協会では、浜松西警察署、浜松西区役所、安全協会地区支部の交通関係団体とともに、会員事業所が多数所属する「協同組合浜松技術工業団地」組合員ら総勢45人が参加して、浜松市西区大久保町地先の交差点2か所において「夏の交通安全県民運動」に伴う街頭広報活動を行いました。

この街頭広報活動は、当日の早朝から行われ、工業団地への通勤車両や通勤者に対して、安全運転や交通事故防止を呼び掛けました。



工業団地事務所 南側交差点



(株)トーキン 西側交差点

天竜地区

7月13日(月)夕方、天竜地区安管協会では「夏の交通安全県民運動」の一環で、本年度安全運転管理推進事業所である「(株)エフ・シー・シー渡ヶ島工場」の従業員に対する交通安全広報活動を行いました。

広報活動では、天竜警察署、天竜区役所、交通安全協会天竜地区支部の交通関係団体の協力により、車両や徒歩で帰宅する同社従業員約200名の一人ひとりに対して、安全運転や交通事故防止、飲酒運転根絶について呼び掛けを行いました。



徒歩や車両で帰宅する従業員に交通安全を呼び掛け

～安全を つなげて広げて 事故ゼロへ～